

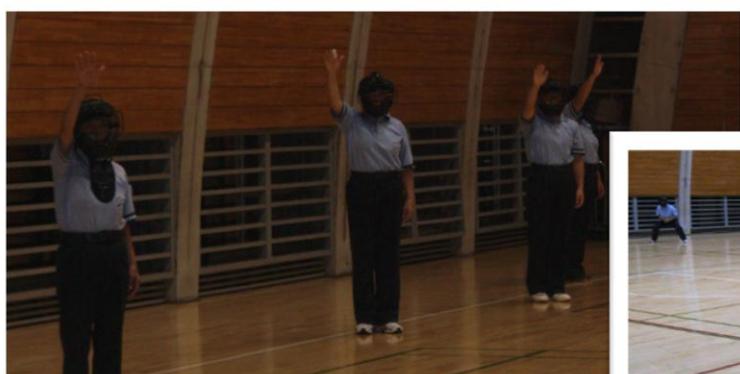
藤沢市ソフトボール協会活動内容紹介

藤沢市ソフトボール協会はソフトボールの普及と振興をはかり、スポーツを通じて健康増進や地域活性化のため、昭和43年に創設されました。一般男子、家庭婦人、学生等市内の約50団体・総勢800名もの会員が各大会に参加するだけでなく運営含めて積極的に活動しております。

今回は大会運営に欠かせない審判・記録の活動について紹介いたします。大会で主役である選手達がソフトボールを全力で楽しくプレーするために審判は的確なルールの適用、正確で明快な判定、そして目立ちすぎないようにスムーズに試合を進行することが必要となります。

「自分達の試合は自分達が運営する」ことを基本に各団体で自主的に審判や記録の資格を取得し審判は50名以上、記録は20名以上が登録しております。取得した資格が錆びついてしまわないように、また大会本番で落ち着いた判定ができるように毎月1回、審判の基本動作の確認や技術の向上を目的に秋葉台体育館で審判実技研修会を、また審判と記録合同でルール等の解釈について学ぶ場として大庭市民センターでルール勉強会を実施しております。研修会では百戦錬磨のベテランの方から教えてもらうだけでなく、お互いに正しい姿勢で構えることができているかを確認したり、勉強会では実例を挙げ、どう対応すべきか審判、記録各々の視点で話し合うことで更に連携を密にしております。このような活動を15年以上継続しておりますが、気持ちだけが若い世代だけでなく、徐々に心身共に若い次世代の方々にも活動を拡大していくことが課題です。

(研修会の風景)



(勉強会の風景)